

な ら し の

学校教育だより



発行・編集 習志野市教育委員会 ☎ 047-451-1151（代表）

Narashino Municipal Board of Education



Contents

1月13日（月）に二十歳の皆さん1,180名が幕張メッセ国際会議場に集まり、二十歳の門出式が行われました。

第一部の式典では、実行委員会代表の2名がこれまでお世話になった方へのお礼や二十歳としての抱負を述べ、今後の習志野市の未来を担う皆さんに頼もしさを感じました。

式典後は、各中学校出身の実行委員が中心となって企画した二十歳を祝う集いが行われ、習志野高校吹奏楽部の演奏、習志野クイズ、恩師からのビデオメッセージの上映など大いに盛り上がりました。

年度末の本号は、児童生徒の活躍及び一年間のまとめとなる取り組みを中心に紹介いたします。（文責：教育総務課 菅谷）

- | | |
|---|------|
| ・二十歳の門出式 | P1 |
| ・習志野っ子の活躍（小・中学校） | P2～3 |
| ・周年行事、秋の運動会、学校健康教育優良学校、児童の表彰 | P4 |
| ・教育功労者顕彰式、教育委員会顕彰式、市民カレッジ学習発表会・卒業式・修了式、伝統文化親子教室事業 | P5 |
| ・全国学力・学習状況調査の結果、ICTマイスター認証式、先生方の紹介 | P6 |
| ・習志野っ子の活躍（習志野高校） | P7 |
| ・習志野高校ニュース、教育長コラム | P8 |

第 **144** 号
2025年3月

テーマ

「学びの充実 ～教育実践の成果～」

【習志野市ホームページ】 学校教育だよりはこちらからもご覧いただけます





ならしの学校音楽祭

3月2日(日)に市川市文化会館で「ならしの学校音楽祭」を開催しました。当日、多くの方に御参観いただき、客席は満席でした。

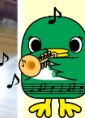


今年度の各種コンクール等において優秀な成績を収めた学校が出演し、今年度は市立小・中・高等学校合わせて12校と、習志野市小中学校管楽器講座の受講生による「フェスティバルバンド」がこれまでの活動の成果を披露しました。当日、参観された多くの方から「素晴らしい発表だった」との声をいただきました。(文責：指導課 富田)

小・中学校管楽器講座閉講式

3月1日(土)に管楽器講座閉講式を行いました。

東習志野小学校の体育館で小学校管楽器講座閉講式を、習志野高校の音楽ホールで中学校管楽器講座閉講式を行いました。小中共に式の後に受講曲の演奏がありましたが、密度の濃い演奏に一年間の積み重ねの成果が感じられました。児童生徒の自信をもって演奏している様子が印象的でした。(文責：指導課 富田)



習志野市席書大会(1/18)、小・中学校書初展表彰式(1/31)

1月18日(土)に東部体育館で習志野市席書大会を行いました。各学校の代表児童生徒が一堂に会し、短い時間の中で集中して作品を書き上げました。

また、1月31日(金)に小・中学校書初展特別賞表彰式を行い、席書大会参加作品の中から特別賞11名を選出し、表彰を行いました。(文責：指導課 西林)



特別賞受賞者

市長賞	第二中学校	那智 皓太朗さん	
議長賞	屋敷小学校	森田 灯篤さん	
教育長賞	谷津南小学校	関根 らんさん	
習志野市PTA連絡協議会長賞	第五中学校	長島 彩芽さん	
小中学校長会長賞	谷津南小学校	中井川 彩加さん、第七中学校	小濱 杏李さん
特別支援教育研究連盟理事長賞	実籾小学校	田中 宗汰さん、第三中学校	田村 駿さん
習志野市文化連盟会長賞	谷津小学校	白石 愛さん	
学年賞	東習志野小学校	高橋 海羽さん、谷津小学校	中山 輝春さん



令和6年度いきいきちばっ子「オリジナル弁当コンクール」

千葉県教育委員会にて、小学5・6年生の児童を対象にコンクールが行われ、4名が入賞しました。



倉田 悠大さん
(屋敷小 6年)



能勢 連太朗さん
(屋敷小 6年)



渡部 夏凜さん
(香澄小 5年)



城石 純花さん
(藤崎小 6年)

中学生人権標語コンテスト

2月5日(水)に消防庁舎にて、中学生人権標語コンテスト表彰式が行われました。

習志野市長賞

「『認め合う』 世界に一人の きみだから」 第一中1年 大野 さくらさん

習志野市議会議長賞

「歩み合い 小さな理解 架け橋に」 第六中2年 野崎 楓子さん

習志野市教育委員会教育長賞

「その勇気 誰かのための 思いやり」 第七中1年 鈴木 優奈さん

習志野市社会福祉協議会会長賞

「やさしさは 心にひびく とどけもの」 第六中2年 長井 倅萌さん

千葉人権擁護委員協議会習志野支部会支部会長賞

「人権は 心を繋ぐ 希望の輪」 第五中3年 中安 隼也さん

優秀賞

「同じだよ 私と君の 大切さ」 第二中3年 石井 美帆さん

「誕生日 幸福手にした 記念日だ」 第三中1年 川村 太郎さん

「守れてる? 周りの人の 人権も」 第四中3年 柴崎 千聖さん



私には好きな言葉があります。それは、金子みすゞさんの「みんなちがってみんないい」です。この言葉には、この世にあるものは誰一人、何一つ同じものはなく、だからこそみんなすばらしいという意味が込められています。自分とちがった個性をもつ友達がいるからこそ毎日の生活が楽しいのだと思います。私も世界に一人のかけがえのない存在として、これからも互いに認め合えるような日々を過ごしていきたいです。

(生徒代表 第一中 大野 さくらさん)

“社会を明るくする運動” 習志野地区作文コンテスト

今年度で74回を迎えた“社会を明るくする運動”は、犯罪のない明るい社会をみんなで目指す運動であり、全国的に行われています。その一環として作文コンテストを実施しており、今年度、1,245点の作品の応募があり、1月28日(火)に表彰式が行われました。

習志野地区推進委員会 最優秀賞

「自分にできることをやってみよう」 藤崎小5年 若嶋 航太郎さん

「言葉で社会を変えよう」 第五中1年 村上 遼馬さん

習志野地区推進委員会 優秀賞

「ラグビーで思いやりの輪を」 大久保小5年 村山 陽音さん

「あいさつや声かけの大切さ」 鷺沼小6年 中野 廉也さん

「明るい世界にするためには」 実籾小5年 藤村 柚羽さん

「はんざいとひ行といじめ」 屋敷小2年 仲野 志穂さん

「今の自分にできること」 向山小5年 稲場 菜奈さん

「未来の習志野市」 谷津南小6年 大橋 柑奈さん

「言葉の自由とは何か」 第三中1年 前田 友樹さん

「生きること」 第四中2年 荒井 悠依さん

「挨拶で孤立を防ごう」 第六中1年 野口 康太さん

「ご近所さん」 第七中1年 麓 希良桜さん



私がこの作文を書いた昨年の夏休みは、ちょうどパリオリンピックが開催されていました。オリンピックという舞台で選手への誹謗中傷という問題が起こっていることを知り、とても悲しく、残念な気持ちになりました。これをきっかけに大きな社会問題であるSNSでの誹謗中傷について、改めて考えました。誹謗中傷で人を傷つけることが犯罪にもなると知り、言葉の持つ影響力を実感しました。誰かに向けて言葉を発するとき、その言葉の持つ影響力を一人一人が認識しなければいけないと強く感じました。言葉は人の力にもなります。私は周りの人の言葉に励まされ、救われたことが何度もあります。すべての人が思いやりと他者を尊重する気持ちを持って正しく使うことができれば言葉は社会を明るくする大きな力になると思います。まずは自分自身がそのような言葉を選び、使えるように心掛けたいです。

(児童生徒代表 第五中 村上 遼馬さん)

(文責：指導課 野島)

周年行事

今年度、4つの小学校、1つの幼稚園で周年行事が行われました。幼稚園や小学校の創立時の様子を振り返るとともに、未来に向かって新たなスタートを切りました。



大久保小学校 創立150周年祝う会(10/5)



屋敷幼稚園 創立50周年記念運動会(10/19)



向山小学校 創立50周年祝う会(12/7)



実花小学校 創立50周年祝う会(12/14)



実穂小学校 創立70周年祝う会(1/11)

各学校、記念式典を挙行了した後、児童の演奏や発表を行う祝う会を開催し、周年行事を盛り上げました。(文責：学務課 阿比留)

秋の運動会

秋に開催した学校の運動会の様子を紹介します。春に体育祭・運動会を実施する学校につきましては、計画的に準備を進め、児童生徒が感動や充実感を味わえる行事にしましょう。

鷺沼小学校 (10/19) スローガン「ひびけ応援 熱い心で 勝利をつかめ」



紅組みんなで応援し、協力して活動することができました。紅組が優勝し、応援賞も取ることができたので、すごくうれしかったです。

(紅組応援団長：宮村 龍晴さん)

応援団のみんなと応援しやすい言葉や振付を一緒に考え、協力して活動することができました。運動会当日は、白組全員で声がかかるくらい応援ができ、やり切れたという達成感がありました。

(白組応援団長：中里 奏太さん)

谷津南小学校 (10/19) スローガン「全力で 力を合わせて 楽しもう」



運動会終了後、多くの下級生から「応援団長をやりたい」と言われました。小学校最後の運動会で応援団長をして、心からよかったと思いました。

(紅組応援団長：佐藤 颯祐さん)

応援団長として白組を率いていけるか不安でしたが、白組のみんなが練習に一生懸命に取り組んでくれ、不安がなくなりました。運動会当日は、全力で応援し、競技に取り組み、優勝することができたので、とても良い思い出になりました。

(白組応援団長：小松 咲稀さん)

令和6年度千葉県学校健康教育関係顕彰・学校健康教育優良学校(学校給食の部)



大久保東小学校は、令和4・5年度の2年間にわたり「地域における食育指導推進事業」の食育指導推進拠点校として活動し、令和5年12月5日に公開授業・研究発表及び協議を実施しました。学校教育活動全体で食育推進における様々な活動が高く評価され、令和6年度千葉県学校健康教育関係顕彰において、「千葉県学校健康教育優良学校」として表彰されました。

(文責：保健体育安全課 北原)

児童の表彰(映画読書感想文コンクール、秋のこども写生大会) 受賞おめでとうございます。

第11回映画読書感想文コンクール 2024

中学校の部 グランプリ 映画「聲の形」 第四中2年 諏訪 夏美さん

マザー牧場 第23回秋のこども写生大会

低学年の部 朝日新聞社賞 秋津小3年 大宮 恵里さん

(文責：指導課 野島)



教育功労者顕彰式

1月22日(水)に、市庁舎で教育功労者顕彰式を行い、個人及び団体に表彰状・感謝状を授与しました。



学校教育または社会教育の振興について功績が顕著である方に表彰状(個人98名、7団体)を、教育又は文化に関する行政に協力し、その功績の著しい方に感謝状(個人30名)を授与しました。授与された皆様、誠におめでとうございます。

(文責:教育総務課 菅谷)

教育委員会顕彰式

2月14日(金)に、市庁舎で習志野市長賞及び教育委員会顕彰授賞式、市議会議長賞表彰式を行いました。

・KONAMI J.B.STAR 矢口 千春さん、西村 美海さん
2024 WORLD HIP HOP DANCE CHAMPIONSHIP
バーシティ部門、JV メガクルー部門 **第2位**

・Halau' o Kealaroselani

近藤 ゆららさん、水島 悠維さん、柳沢 理多さん

世界大会 Hula' Oni E Hawaii Kaikamahine' Auana グループ部門 **優勝**

・フミヤエース市川テニスアカデミー 阿川 蒼生さん

2024 15歳以下 全国選抜ジュニアテニス選手権大会(第43回中牟田杯) U-15 男子ダブルス **優勝**

・CAC RG 清水 優羽さん 第42回全日本ジュニア新体操選手権大会 女子団体の部 **第1位**

・習志野高等学校 吹奏楽部 第72回全日本吹奏楽コンクール 高等学校の部 **金賞**

第37回全日本マーチングコンテスト 高等学校以上の部 **金賞**

・第二中学校 吹奏楽部 第37回全日本マーチングコンテスト 中学生の部 **金賞**

・第四中学校 吹奏楽部 第37回全日本マーチングコンテスト 中学生の部 **金賞**

・大久保小学校 吹奏楽部 第43回全日本小学生バンドフェスティバル マーチング部門 **金賞**

・第一中学校 管弦楽部 令和6年度こども音楽コンクール 中学校重奏部門 **文部科学大臣賞**

・谷津小学校 管弦楽クラブ 令和6年度こども音楽コンクール 小学校合奏第2部門 **文部科学大臣賞**

(文責:教育総務課 菅谷)



市民カレッジ学習発表会・卒業式・修了式



1月23日(木)にプラッツ習志野市民ホールにて、市民カレッジ学習発表会・卒業式・修了式が行われました。受講生が3グループに分かれ、それぞれのテーマについて発表した後、卒業式・修了式が行われ、第28期生卒業生33名には卒業証書が、第29期生35名の代表者には学長の宮本泰介市長から修了証書が手渡されました。(文責:社会教育課)



令和6年度伝統文化親子教室事業

いけ花教室閉講式(1/18)
茶道こども教室修了式(1/25)

次代を担う子供たちに対して、伝統文化・生活文化に関する活動を計画的・継続的に体験・修得できる機会を提供する取組を支援しています。1月18日(土)にいけ花教室閉講式、1月25日(土)に伝統文化茶道こども教室修了式が行われました。(文責:社会教育課)



いけ花教室閉講式

形、大きさ、色が異なる花や葉をバランスよく生けるのは難しいですが、納得のいく作品ができた時はとても嬉しかったです。
第四中2年 難波 七帆さん



茶道こども教室修了式

最初はできなかった「袱紗捌き」ができるようになって嬉しかったです。
鷺沼小6年 前田 三和さん

令和6年度 全国学力・学習状況調査～課題と今後の取り組み～

教科に関する調査の結果

習志野市は全国、県の平均正答率を小・中学校とともに**全教科で上回っている**。

小6	本市 (%)	県 (%)	全国 (%)	中3	本市 (%)	県 (%)	全国 (%)
国語	73	67	67.7	国語	61	57	58.1
算数	69	63	63.4	数学	57	51	52.5



国語の課題

- ・自分の考えが相手に伝わるように書き表すこと

算数・数学の課題

- ・図形の意味や性質の理解
- ・複数のデータを比較して、数学的な表現を用いながら説明すること

今後の取り組み（国語）

- ①条件付き作文に取り組みましょう。
- ②絵や写真を見て気付いたことを、文章に書いてみましょう。
- ③作成した文章の見直しをしましょう。

今後の取り組み（算数・数学）

- ①立体図形などの実物やアプリ上で作成した図形を操作や観察してみましょう。
- ②AI 型デジタルドリルで、図形の問題に挑戦してみましょう。
- ③身近なデータや趣味に関連したデータなどを使い、分析を行ってみましょう。
- ④データの解釈力を高めるために、友達と協力してデータを分析してみましょう。

分析結果（生活面）

小中学校とともに、「平日1日当たりのゲーム等の時間・動画視聴の時間」が少なくなるほど平均正答率が高い。ゲームや動画視聴に費やす時間が学習時間の確保と関連していることが考えられる。

今後の取り組み（生活面）

ゲームや動画視聴の時間について、学校と家庭でルール作りを行うなど、生活習慣を見直す機会を設けて、規則正しい生活を送るようにする。

やってみよう



令和6年度 ICT マイスター認証式

令和7年1月14日（火）、市庁舎にてICTマイスター認証式を執り行いました。これから校内のICT教育推進教師としての活躍を期待しています。



ICT マイスター4期生

山ノ内 颯人（津田沼小）	池野 大一（袖ヶ浦西小）	小川 祐太郎（向山小）	瀧本 佳生（第三中）
澤田 明秀（大久保小）	栢本 大輝（東習志野小）	矢吹 俊哉（秋津小）	栗田 洪亮（第四中）
田中 孝平（谷津小）	吉田 仁美（袖ヶ浦東小）	伊藤 穂高（香澄小）	大久保 陸（第五中）
渡部 結衣（鷺沼小）	岩部 新大（屋敷小）	高田 紳也（谷津南小）	愛宕 藍（第六中）
園田 美樹（実籾小）	北村 康太郎（藤崎小）	中山 太一（第一中）	飯塚 一路（第七中）
関口 直人（大久保東小）	渡邊 亮太（実花小）	山本 真弘（第二中）	【計23名】（敬称略）

ICT を活用した授業を実践されている先生の紹介

タブレット端末を活用した課題解決型の協働学習

【指導者】藤崎小学校 二宮 和久 教諭

【教科】国語 【単元】「言葉は時代とともに」

【使用機器】指導者用タブレット・児童用タブレット・大型提示装置

【使用アプリ】Kahoot・Padlet 【授業内容】調べたことをクイズ形式にして交流

【活用方法と効果】

Kahoot アプリ・授業の導入で昔の言葉を現代の言葉や意味に置き換える復習として活用

⇒読み方や意味など言葉が変化していくことを実感させることができる

⇒「変化したり使われなくなったりした言葉を探す」という学習課題を自然ともつことができる

Padlet アプリ・グループで調べたことをまとめる際に活用

⇒タブレット上でリアルタイムに情報共有ができる

⇒友達のアイディアを学び気づきが生まれ深い学びにつながる

（文責：総合教育センター 小泉）



習志野っ子の活躍

習志野高校

部活動の活躍

関東高等学校新人体育大会 ボクシング競技 全国選抜大会出場



関東選抜大会は、新チームで挑んだ大会でした。キャプテンとしていつも以上に気持ちを入れて大会に参加しました。自分自身、前回負けた選手に決勝で再び負けてしまい、キャプテンとして絶対勝たなくてはならない場面です。勝てなかったのは、普段の甘さがでたからだと感じました。しかし、自分も含め、チーム全員が成長できた大会でした。今後の目標は全国選抜に出場する2人は必ず優勝することです。

ボクシング部キャプテン 片岡 叶夢さん

千葉県高等学校新人柔道大会 個人・団体 全国大会出場



全国大会では、先輩方を超えるように1回でも多く勝ち上がります。残りの準備期間で今回の試合で出た課題を解決し、雑草の如く遅く、雑草のように泥臭い柔道で団体日本一を目指していきます。応援よろしくお願いします。

柔道部主将 小川 皓太郎さん

千葉県高等学校新人体育大会 体操競技 全国選抜大会出場



初めての大会で緊張すると思いますが、練習した成果を発揮し最高の演技を目指します。ひとつひとつの技に集中し正確さや美しさにこだわりながら自分らしい演技ができるようにしたいです。

出場できることがあたりまえだと思わず仲間や先生、家族などへの感謝の気持ちを忘れず悔いの残らない演技ができるように頑張ります。

女子体操競技部 内田 奏那さん

地域とのふれあい ソフトボール部 Tボールで遊ぼう



1月25日(土)にソフトボール部の生徒が未就学児及び小学校低学年の児童を対象に野球やソフトボールの魅力や楽しさを伝えることを目的にTボール体験交流会を行いました。当日は、保護者と一緒に児童等が参加し、高校生と楽しく触れ合いました。

(文責：習志野高校 教頭 鈴木)



全日本バレーボール高等学校選手権大会 春の高校バレー 男女出場



吹奏楽部をはじめとした地域の方々や、応援してくださるたくさんの方々のおかげで私たち3年生にとって最高の引退試合になりました。現地やライブ配信で応援してくださった皆さん、ありがとうございました。これからも男子バレーボール部の応援をよろしくお願いします。

男子バレーボール部主将 谷 俊造さん



昨年に引き続き、たくさんの方々に応援していただき、とても心強く、誇らしい気持ちで試合をすることができました。

試合が終わり、一試合でも多く戦いたかったという悔しい気持ちはありますが、今大会に出場して多くのことを学ぶことができました。次のステージに向け、より一層励んでいきます。

女子バレーボール部主将 中村 羽乃花さん

(文責：教頭 鈴木)

～ 好きです ふるさと習志野 ～

教育長コラム

昨年から今年にかけて、地域的话题を伝えていただいたミニコミ誌が相次いで休刊となりました。本市の文化・スポーツから学校行事、児童生徒の活躍に至るまで、丁寧な取材をもとに掲載された記事は、多くの方に愛され、関係者は大いに勇気づけられました。かくいう私も、スポーツ大会の結果が紙面に掲載された時は、次に向けての活力になったことが今でも思い出されます。今やネットの時代であり、写真(動画)付きで情報を得ることができますが、紙面への掲載は独特のインパクトを感じます。一方で、学校教育においては、順位や成績のような目に見える評価もあれば、取り組みの経過や努力など、一見分かりにくい評価もあります。児童生徒の学びには、順位などでは表せない、かけがえのない努力や頑張りもあり、そのことを評価することで、本当の意味での一人一人が輝く教育につながるはずです。紹介させていただいたミニコミ誌には、決して成績だけが紹介されていたわけではなく、取り組みやその内容に対する周囲の期待や思いにもふれられていました。だからこそ発行を心待ちにしている方が多かったのではないかと思います。さて、最近はイベント等があっても取材を受ける場面がめっきり減ってしまい、一抹の寂しさを感じています。本市の文化・スポーツ、そして、児童生徒の活躍を伝える役目をこの学校教育だよりが引き継いでいく必要性を感じています。そのためにも掲載する内容を生涯学習全般にまで裾野を広げることができたらと考えています。もちろん「学校教育だより」創刊当時の目的である、習志野の教育に関わっている多くの皆様、取り分け先輩の先生方に、学校の様子を伝えることをこれからも大切にしていきたいと思います。そして、今まで以上に現場に足を運び、丁寧な取材を心がけてまいりますので、新たな紙面に乞うご期待ください。(教育長 小熊 隆)